

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和4年 7月15日 NO.64

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

6月
定例会

「神石高原通貨」「キャッシュレス決済（ペイペイ）」「20%プレミアム」
総額4億1828万円（6月）

6月定例会は15日から24日まで開かれ、6月度各会計補正予算、工事請負契約の変更など19議案を審議し、原案のとおり可決・承認しました。また専決された5月度補正予算や、令和3年度各第3セクター経営状況などの報告がありました。

コロナ感染予防・経済対策等
追加補正
6400万円追加補正
町道補修や道路整備に

6月補正予算は表（総括表は次ページ）のとおりです。
4億1828万円の増額補正となりました。

交通量の多い町道の舗装や町道上組城江線の改良工事に着手。

一般会計補正額3億4056万円の内、新型コロナウイルス感染予防対策費として4回目ワクチン接種、経済対策として高円通貨やキャッシュレス支払い20%プレミアムなど8500万円が追加補正されました。
（財源は地方創生臨時交付金）

来見学童やまびこ三和館の改修整備、神石僻地診療所の空調設備整備、社会教育施設豊松陽光の里文化ホールの空調設備改修が追加補正されました。

食料費高騰対策に460万円

小中学校の給食食料費の高騰を保護者に転嫁することなく町が負担し安定的に給食を提供。

国民健康保険特別会計において安定的運営のため857万円の基金積立を行いました。

国民健康保険特別会計

令和4年6月補正（一般会計）

（単位：万円）四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	338	7,915	職員人件費
総務費	2,336	25億2,223	オゾン除却機160、自治宝くじ（高光）100、油木モセトイレ改修554
民生費	2,405	25億2,837	国保会計繰出▲481、介護保険会計繰出183、放課後児童管理（学童やまびこ来見館工事業務委託など）2,339、高齢者福祉施設管理180
衛生費	6,257	16億0,744	コロナウイルスワクチン接種3,963、神石へき地診療所空調設備517、飲料水確保111、飲料水供給施設会計繰出144
農林水産費	2,910	8億2,219	有害鳥獣対策（町おこし協力隊）100、農業生産団体育成（コロナ助成）230、農地利用効率化支援216、広域農道（福粕川）など維持管理3,100、ため池（ハザードマップ）180
商工費	8,124	2億3,660	高原ツアー追加補助500、原油高騰対策（キャッシュレスペイ）8,000、自然公園管理116
土木費	8,318	7億9,864	大規模盛土調査（三和中）1,000、町道維持補修3,600、単独町費町道整備3,600、国道道整備移譲333
消防費	11	4億0,737	水利など補修
教育費	2,062	9億4,074	ALT（外国青年任用職員）活動事業75、小中学校給食施設管理（食料価格高騰対策）460、社会教育施設光陽の里空調設備2,024
災害復旧費	270	4億0,653	過年度発生農地農業施設復旧（R3年分）270
公債費	720	14億3,326	長期債繰り上げ償還720
諸支出金	305	3億5,603	保健医療福祉支援事業基金積立305
予備費		4,000	
合計	34,056	121億7,855	（主な歳入）町税1,409、国庫支出金1億6,517、県支出金435、繰越金1億2,821、諸収入142、町債2,520

なにがどうなる

条例改正など

おもなもの

<町非常勤特別職の報酬及び費用弁償条例の一部改正>

○医師、弁護士、大学の教授若しくは准教授又はこれらに準ずる職にあるものであって高度な専門知識を有する者……30,000円を上限として日額報酬を支給することが出来る。

* 現行の報酬額では受諾してもらう事が困難なため報酬額の改正を行いました。

<国民健康保険条例及び介護保険条例の一部改正>

○コロナウイルス感染症の影響による保険料(税)の減免措置を前年に引き続き令和4年度も実施するため。
(適用期間の延長を行いました。)

<工事請負契約の締結と変更>

◆工事請負契約の締結 高蓋地区簡易水道 水道管敷設工事

○請負金額：95,150,000円(請負者：広瀬建設株式会社)

◆工事請負契約の締結 東南油木地区(安田下) 水道管敷設工事

○請負金額：66,440,000円(請負者：安田工業株式会社)

◆工事請負契約の変更(請負金額：63,800,000円) 請負者・大宝建設株式会社

○来見小学校体育館改修工事(工期の変更・完了日 令和8月31日⇒令和12月31日)

<財産の取得>

◆公用車(マイクロバス)の購入

○29人乗りバス 1台(契約金額・8,961,700円)相手方：有限会社神石ミニカー商会

◆公用車(スクールバス)の購入

○29人乗りバス 1台(契約金額・9,402,470円)相手方：有限会社神石ミニカー商会

令和4年度予算会計別総括表

単位：万円(四捨五入)

会計名	令和3年度			摘要		
	5月補正後予算額	6月補正	6月補正後予算			
一般会計	118億3799	3億4056	121億7855			
特別会計	国民健康保険	10億1400	388	10億1788	財政調整基金積立857	
	後期高齢者医療	3億7,390	169	3億7,559	広域連合納付金12、繰出金147	
	介護保険	19億3,890	4995	19億8,885	基金積立3070	
	内訳	保険事業勘定	19億2,200	4995	19億7,195	基金積立3070
		介護サービス事業勘定	1,690		1,690	
	簡易水道事業	3億8,530	1192	3億9,722	施設維持1222	
	飲料水供設事業	3,740	344	4,084	施設維持344	
	農業集落排水事業	2億2,670	684	2億3,354	施設維持620	
	分収育林事業	330		330		
	総合開発事	10		10		
特別会計計	39億7,960	7772	40億5,732			
病院事業会計	6億2,280		6億2,280			
合計	164億4039	4億1828	168億5867			
特別会計+病院事業会計	46億0,240	7772	46億8,012			

有害鳥獣駆除対策事業
○地域おこし協力隊採用

当初予算では2名を予定していましたが1名追加、3名体制に対応出来る様追加補正しました。

地域おこし協力隊制度を活用し、有害鳥獣捕獲、搬出、解体、製品化までを、民間事業者や協働支援センターと連携して活動する協力隊員の追加採用経費として100万円計上。

第三セクター奮戦中 令和3年度決算

令和3年度第3セクターの決算報告がありました。
 全て黒字決算となりました。

さんわ182ステーション売上明細表

単位:万円

	R3売上高
市場売上高	3億7,986
フードコート売上高	1,899
自販機売上高	369
その他売上高	166
ローソン売上高	1億5,704
加工品売上高	344
合計	5億6,468

さんわ182ステーション
 長らく新型コロナウイルスの感染拡大自粛ムードとお盆時期の記録的長雨による土砂災害警戒避難指示などの影響により、来客数は40万弱と総売上高とともに大幅な減少となりました。

町からの補助金収入など営業外純収入2100万円を確保し150万円強の利益を計上しました。食堂を業務委託している「高原の風」の来客数は1万1284人で前年度対比34%減。ローソン部門の売上は18%減。10年を経過し、人件費を抑えるソフト調整など課題解決に努め、令和2年度は開店以来初めての黒字を計上しましたが、再度200万円強の赤字となりました。

神石高原農業公社
 収穫事業、作業受託、トマト、公共施設管理部門減収傾向に加え、令和2年度に増収となった調整事業・農林支援事業、育苗事業が減収となり、田植事業のみが増収となった。にも拘らず、500万円の運営補助により黒字を

計上した。
 公社の事業は、公益部分も多く赤字体質は仕方ありませんが、農業委員会からの要望にあるように小規模農家支援、農地荒廃防止のため事業体制の強化改善は必至とされます。また、地域農業を守るために、活動エリアを町全体に拡大することも公社の事業増大・経営安定も含め、再検討すべきと考えます。

昨年より更に売上げは14.3%減と大幅に減少しました。
 休業補償金など補助金制度適用により経営が維持できています。
 観光地として安心な旅行、観光に最適な地であることの発信・見える化が必ずです。
 レトルト食品売上、楽天市場販売も順調に伸びており、業務のDX化や「ドローン合宿」など新規事業の展開を含め、他機関との連携を密にされ一日も早く正常運転に戻られることを期待します。

毎年6月定例会では第3セクターの決算報告があり、会報の7月号では毎回その特集を組んでいます。
 今年は新型コロナの影響もあり単純比較はできないもののそれぞれに創意工夫し営業活動に邁進され敬意を表します。

く決断をされました。
 農産物の確保、加工品の生産増、インターネット販売など課題解決に取り組み、地域拠点としての「道の駅」の役割を再認識し、更なる発展・飛躍を期待します。

令和2年2月からの新型コロナウイルスの来襲のため蔓延防止対策の休業が続き、

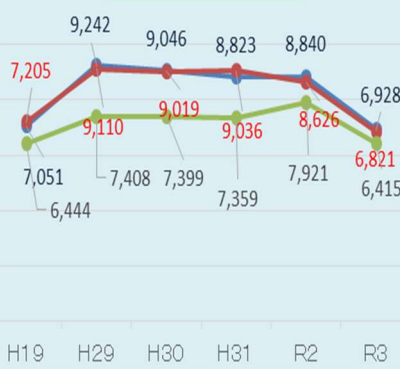
令和2年2月からの新型コロナウイルスの来襲のため蔓延防止対策の休業が続き、

令和2年2月からの新型コロナウイルスの来襲のため蔓延防止対策の休業が続き、

南さんわ182ステーション



株神石高原公社



株帝釈峡スコラ



第3セクター合計



*表の見方 単位:万円
 上段の数値(青):総収入
 下段の数値(赤):総費用
 最下段の数値(緑):売上高

【百彩館をどうするのか】

「百彩館」は、平成30年10月より、さんわ182ステーションの油木支店として運営され、以来3年が経過しましたが、原因となった単体での赤字傾向は種々の経営改善対策にも拘らず解消されず、令和3年度の収支決算は518万円のマイナスとなりました。

このままでは182ステーションの経営を圧迫し、盤石な本体財務体質に大なる影響を与えかねない。

今後、百彩館の経営をどのように改善するのか。

最善なる方策は。

【更なる子供支援対策を】

定住促進対策事業としての子育て支援事業の主たるものは、

- ①第2子以降の保育料の実質無料化事業
 - ②誕生祝い金制度
 - ③子育て支援小中学校入学祝い金制度
- であります。少子化傾向の歯止め対策として、更なる支援拡充の必要性を伺う。

継続している。

百彩館は当時はプラスマイナスゼロで指定管理料はナシで補助金を100万円支払っていた。現在もエブリイ出荷補助金もあり赤字補填としての指定管理料支払いは考えられない。

今後は、スタート時点で経費の部分を必要ならばどうするか、指定管理であれば管理料を検討したい。

木野山 そのように指定管理料などで財政支援を保証する中で、誰かが受ける事が必要だ。

油木地区住民主体で組織（例えば豊松地区のNPO法人のような組織等）を立ち上げ、地元出荷産品のミニマーケット市場（出荷者がお互いに管理）を併設した住民の集いの場としての活性化拠点施設を検討したらどうか。

町長 具体案の提案ですが、そういった事も含め、誰がどういった形で運営するか、早急に検討していきたい。

更なる子供支援策拡充を

木野山 本町の少子化傾向への対策は、経年の本町重要課題だ。更なる支援拡充は考えられないか。

町長 必要な施策を令和2年3月に「第2期総合戦略」として策定し、進めている。

更なる支援拡充については、子育て施策では、具体的には、子供たちが英語に触れる機会を増やしたり、神石高原町の自然を活かして学べるしくみ、障害がある子供の自立支援につながる取組みなど、若い方が住んでみたい・子育てしたい環境づくりを考えていきたい。

木野山 財源が確保できればもう少し踏み込んだ政策が出るのではないかと。

- ①子育てと仕事の「両立」
- ②「経済」的な安定

③「安心感」という3つの環境づくりが重要と言われています。

- ①第2子以降の無料化を第1子まで拡充する。
- ②誕生祝い金を第2子以降段階的に増額する。

③給食費の実質無料化を再度実施する。

④町の各支援策をしっかりと町内外に発信する。

⑤ふるさと納税など財源確保

どのように思われるか。

町長 移住者や子供の数を増やす事と子育て施策との関連は微妙だ。必ずしも子育て支援を優先することが上位にはない。

地域社会、世の中を変えているのは「人」だ。一時の補助金ではなく徹底的な教育、将来への投資が必要だ。時間はかかるが必ず帰ってくる。

木野山 国・地域・家庭家族を大事にする事を含め教育、人材育成が重要なことは間違いない。

即効性もなければその気にならない。給食費実質無料化を実施している市町は多い。

こちらへも力を入れていく姿勢を見せて戴きたい。

町長 各市町の無償化への成果も検討の必要もある。

将来の子供たちの為になる事にお金をどんどん使っていきたい。

町長 先般の182ステーション

9月末を目途に産直市場から新しい活性化施設として検討していく方針が示され承認された。

町としても、この件については尊重いたします。

地域の若い方々で議論されている店舗の有効活用について、その動向を見守りながら、

町も一緒に、地域の有効的施設となるよう模索したい。

木野山 指定管理料としてい

くらか見積もる事が可能か。

副町長 民間活力の活用として

指定管理料の支払いは可能ですが、額は今後の管理形態による。慎重に判断したい。

木野山 スコラやティアガル

デンにはかなりの指定管理料が支払われている。

どう考えるか。

町長 言われる2施設は観光

資源として大きな施設であり当初より支払っており現在も